

ミャンマーにおける乳がん検診の体制上の課題

<p.11>

本事業では、当初は研修の予定はなかったが、Central Women Hospital, Mandalay には乳がん検診を一定の精度を持って行える医師がほとんどおらず、慢性的な国立病院の医師不足からマンダレー医科大学の医師の派遣も現実的でないことが分かった。このことから、比較的乳がん検診に知見のある医師2名、技師1名の研修を岡山大学病院の協力により1月19日から2月14 日の期間に岡山大学医学部乳腺・内分泌外科にて行った。

<p.13>

ミャンマー国内に乳がん検診に知見の深い医師や技師は多くない。今回も開所式の後はこの教育に関しての日本の協力依頼がミャンマー側から寄せられた。